

Heartful Day

北条高校人権委員会
平成26年3月5日
No. 79

みんなが楽しく学べる学校に

いじめをノックアウト

みなさんは、「いじめ」について考えたことがありますか。友達の中には、このことで悩み、強い不安を感じている人がいるかもしれません。

いじめは大きく分けて、「暴力をふるう」「言葉によるもの」「無視する」の3つに分類できます。例えば、言葉によるいじめだと、「ふざけていただけなのに」「からかっていただけなのに」「冗談なのに本気にして…」といじめっ子は誤魔化することがよくあります。

でも、「いじめ」と「からかい」は根本的に違います。もちろん、「からかい」であっても、誰かが傷ついて、気まずい雰囲気になったらそこで終了するのが原則です。言われる側が「いつも同じ人」でかつ「そのことを苦痛に感じている」なら、それは立派な「いじめ」です。

さて、いじめには、傍観者がいることは知っていますね。彼らのなかにも、本当は、加害者がやっていることが悪いことだと分かっているが、「告げ口をすれば自分がターゲットにされるんじゃないか」とか、「自分が言ってもどうにもならないんじゃないか」と、臆病になって、結局、見て見ぬフリになっているひともいます。このようなタイプのひとは、いじめ解決の重要な鍵になってくれる貴重な存在です。「確かに、自分から声を上げるのは不安だし、勇気が要るよね」。でも、いじめは卑怯で恥ずべきことで、決して許されるものではありません。もしあなたの周りでいじめがあったら「それはいじめだ」「いじめはしてはいけない」と言ってください。そして、勇気をもって、身近な人たちに相談をしてください。あなたの気持ちに答える人は必ずいます。

あらためて「We Love 北条宣言」を読んでみよう

本校には、「We Love 北条宣言」があります。これは、制定当時の生徒会が「いじめをなくすために何か行動を起こすべきではないか」と提案しました。そして、何ができるのが検討していく中で、いじめをなくすために自分たちができることをまとめた宣言文を作ろうということになり、出来上がったのです。つまり、生徒一人一人がいじめを自分の問題として考え、いじめをなくすために行動することが必要であるとの考えから生まれたものです。もちろん、この宣言だけでいじめをなくせるわけではありません。しかし、これまでいじめを他人事としてとらえていた生徒に「いじめは自分たちの問題であり、自分たちでなくしていくものだ」というメッセージは伝えることができると思います。また、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決を目指すうえでも、自分や自分の身の回りから考え、よい方向に変えていくという経験を積むことで行動への意欲を高めることができると思います。

WE LOVE 北条宣言

私たちには「安心して楽しく学校生活を送ることができる」という権利があります。その権利を侵害することは、決して許されないことです。一人一人の権利を守るために、北条高校の一員として次のことを宣言します。

- 私たちは、からかいや悪口ではなく、励ましや感謝の気持ちを言葉にします。
- 私たちは、人を見下したりせず、思いやりのある態度で接します。
- 私たちは、人を無視したり、仲間はずれにしたりせず、みんなで協力し助け合います。
- 私たちは、誰に対しても明るく元気にあいさつします。
- 私たちは、互いの違いを個性として認め合います。

これらのことは、私たちが楽しい学校生活を送るためであり、みんなにとって居心地のいい学校にするためです。私たちは、これからもいじめ問題をはじめとする人権侵害をなくすためにみんなで協力し、努力していきます。

平成22年5月24日

愛媛県立北条高等学校生徒一同

わたしの行動宣言！

「見ているだけというのはやめよう」そして、いじめを減らすために何ができるのかを考えましょう。その一歩として『私の行動宣言』をしてみませんか。これは、(私はいじめを減らすorなくすために)『〇〇します!』という、あなたの行動宣言です。“自分がやろうと決めたこと”、“これならできる”というものを考えてみましょう。そして、行動してみませんか。

今年度の放送は、今回でおしまいです。来年度もお楽しみに…

お願い

今日の放送を聞いて生徒の皆さんの感想や、この資料をご家庭に持ち帰ってご家族の方と話し合ったこと、ご感想などをお寄せください。

提出は、ホームルーム担任まで

----- 切り取り線 -----

第10回ハートフルデー

()年次 生徒 or 保護者
